

平成21年9月30日

各 位

上場会社名 株式会社 パイプドビッツ
 代表者 代表取締役社長 佐谷宣昭
 (コード番号 3831)
 問合せ先責任者 情報取扱責任者 青木宏実
 (TEL 03-5771-6931)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年3月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年2月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年3月1日～平成21年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	571	93	93	55	3,361.04
今回発表予想(B)	553	116	116	67	4,139.48
増減額(B-A)	△17	23	23	12	
増減率(%)	△3.0	25.4	25.6	23.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年2月期第2四半期)	513	129	130	75	4,589.87

平成22年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,200	230	230	136	8,310.93
今回発表予想(B)	1,140	213	213	126	7,719.54
増減額(B-A)	△60	△17	△17	△9	
増減率(%)	△5.0	△7.4	△7.4	△7.1	
(ご参考)前期実績 (平成21年2月期)	1,034	251	252	146	8,924.93

修正の理由

当第2四半期累計期間におきましては、「給与明細書電子化サービス」等による、情報資産管理ASP/SaaS「スパイラル(R)」の利用シーンの拡大により、有効アカウント数は順調に推移しました。

しかしながら、景気悪化に伴い企業が積極的な販促投資を控えた影響等により、大型案件の受注が想定を下回った結果、売上高は、平成21年3月30日に公表いたしました業績予想を下回る見込みとなりました。

一方で、当社サービスの競争力強化の一環として今期首より注力してまいりましたシステム開発に伴うソフトウェアの資産計上、及び管理費等経費の削減に努めた結果、営業利益及び経常利益は、平成21年3月30日に公表いたしました業績予想を上回る見込みとなりました。

第10期(平成22年2月期)通期につきましては、有効アカウント数は堅調に推移するものと見込んでおりますが、景気の先行きは依然不透明であり、引き続き大型案件の受注は当初の想定を下回ることが予想されます。

以上を踏まえ業績予想の見直しを行った結果、平成21年3月30日に公表いたしました業績予想を修正することにいたしました。

(注)上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上